

総勢 100名

薬局 体験会 新聞

発行人
StudioNoguchi



大勢の人がいて
びっくりしました

5月11日（土）薬局のヒミツ体験会2が開催された。会場は千葉科学大学マリナーキャンパス5号館の2階にある、薬剤師業務の実習ができる大部屋だ。

今回はスタッフを含め約100名がこのイベントに参加した。「薬局での待ち時間に薬剤師さんは何をしているのでしょうか。今日は薬局で行う薬剤師業務のうち9つを体験できるように、新入生たちが準備を進めてきました。薬局のヒミツの一端を体験してください！」90分間の薬剤師体験がスタートした。

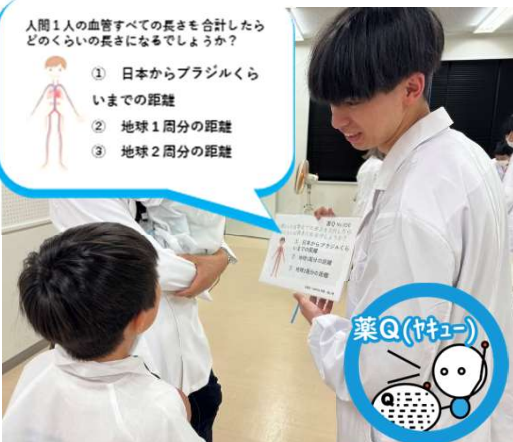
マル秘ミッション 薬Qとは??

「多くの方が来られる予定だ・暇な時間は作らせない」そこで生まれたクイズに関するクイズ。それが薬Q（ヤキュー）。

薬学生になって1か月間勉強した学生に問題を用意してもらった。順番待ちをしている方にクイズを出す。薬局のヒミツ体験会には待ち時間はない♪

人間1人の血管すべての長さも合計したらどのくらいの長さになるでしょうか？

- ① 日本からブラジルくらいまでの距離
- ② 地球1周分の距離
- ③ 地球2周分の距離



薬剤師さんがやっていることがわかって楽しかったです。

薬局のヒミツ体験会では体験後にアンケートをとり、イベントで知ったこと、驚いたことを文字や絵で表現してもらっている。今回のイベントでは、体験自体の楽しさを表現したコメントが以外に、理由がわかったことに対するコメントが目立つ。それぞれの体験が、作業ではなく、意味のある業務だと感じてもらった結果だと読み取れる。

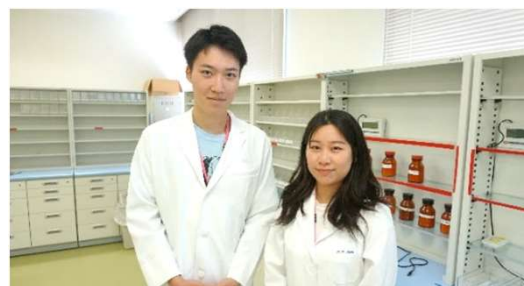


保護者に聞いた、 「学生スタッフのよかったところ」

小さな子にもわかるように教えてくれた。
待ち時間にクイズを出してくれてたいくつしないようにしてくれたこと
全ての方が親切・丁寧に明るく接してくれました。ありがとうございました。
かみくだいたやさしい説明でわかりやすく良かったです。
留学生が多かった感じが、ゆっくり教えてくれて、子どもたちも分かりやすかったと思います。

途中のクイズも写真入りで三択で楽しかったです。服薬指導の資料カワイかったです♡
留学生も頑張って説明していた。日本の子は笑顔が良かった。
とても丁寧に押してくれました。上手・できているよ！うまいね！など、興味とやる気を高める声かけも嬉しかったです。
くすりのことをラムネなど身近なもので例えてくれたのでわかりやすかったです。

右 パクさん
左 西岡さん



私は実務計算を担当しました。実務計算は処方箋を確認して薬を正しい数用意する薬剤師業務で、薬の包装シートをハサミで切り分ける時に薬剤師が注意していることを知ってほしと思って準備を進めて来ました。
実際に小中学生に包装シートを切り分けてみてもらい、薬剤師が気を付けてることを伝えた時「確かにこっちのほうが使いやすいし、よく見る！」という声が帰ってきてとても嬉しかったです。今日の経験を活かしこれからの勉強に頑張りたいと感じました。（西岡）

インタビュー この体験で得られたこと

私は韓国から来た留学生です。無菌操作として点眼薬（目薬調剤）を担当しました。準備しながら無菌操作をする理由を調剤過程で学ぶことができて興味深かったです。そこで、小中学生にこの内容を簡単かつ面白く伝えるために努力しました。
私は子供たちが注射器を利用して目薬を調製するように助け、完成後に喜ぶ子供たちの姿にやりがいを感じました。
子供たちに目薬調剤を教えながら、私は薬剤師という気持ちで臨み、薬剤師という職業に対する使命感を感じることができました。（パク）

主催者コメント

本日はお越しいただきありがとうございます。空調や終盤の誘導の際はご迷惑をおかけいたしました。多くの方々から「次回が楽しみだ」というお声をいただきました。この声を学生と共有し、さらに円滑に、さらに学びのあるイベントを学生と作り上げていきます。

★プログラム★

- 09:30 受付開始
- 09:45 全体説明
- 10:00 イベント開始
- 11:30 イベント終了
- 11:40 集合写真
- 11:45 アンケート
- 12:00 解散

開催場所：千葉科学大学
マリーナキャンパス5号館